

「京丹後市市の花と木と歌制定委員会」

第4回会議記録

開催年月日	平成21年3月26日(木)
開始・終了時刻	午後1時30分から2時30分
開催場所	市役所302会議室
出席者	【出席委員】7名 板垣久彌委員長、安井美佐子副委員長、安達昇平委員、 上羽敏夫委員、藤井美枝子委員、松江賢一委員、毛呂紀子委員 【欠席委員】4名 今西欽一委員、梅田耕之助委員、沖田康彦委員、吉田真也委員 【市の歌検討委員】1名 久保幸司委員長 【事務局】3名 《教育委員会》 水野次長、山副社会教育課長 《企画政策部》 山下企画推進課主任
会議次第	1 開会 2 議事 (1)「市の歌」制作者の選定について (2)「市の花」「市の木」の候補募集結果について 3 その他 4 閉会
配布資料	「市の歌」検討結果報告書 「市の花」「市の木」の候補募集結果について
決定事項	「市の歌検討委員会」における検討結果及び提案に基づき、作曲を藤原哲也さんに依頼することを決定。
会議記録作成者	企画政策部企画推進課 主任 山下 琢

会議中の主な発言要旨

項 目	主な意見
1 板垣委員長 開会あいさつ	<p>年度末のお忙しい中をお集まりいただきありがとうございます。</p> <p>本日は、「市の歌」制作者の選定、「市の花」「市の木」の募集結果の報告を主な議題とさせていただいております。委員の皆様には忌憚のないご意見を出していただき、実りある協議としたいと考えておりますので、ご協力をお願いします。</p>
2 議事	<p>「市の歌」制作者の選定に関する主な質疑応答</p> <p>事務局より第3回の制定委員会で候補者とした3名の作曲家全員に作曲を依頼できなかった経過の報告を行う。その後、市の歌検討委員会の久保幸司検討委員長による検討結果及び提案説明を行い質疑応答。</p> <p>Q．前回の委員会において3名の作曲候補者を決めましたが、作曲を依頼出来なかったことから地元で活躍している音楽家を候補者として選定することとなったということだが、当初の市の方針が大きく転換された結果となる。市としてその方針の変更についてどう考えているか。</p> <p>A．昨年の12月補正で全国的に著名な音楽家に依頼するという事で8,000千円を予算計上していたが、作詞者として決定した梅田俊作さんとの委託金額及び作曲候補者とのバランス等を考え、この3月補正で5,000千円を減額して、3,000千円を21年度に繰越をした。前回の委員会で決定していただいた作曲候補者も有名で、経験豊富な作曲候補者であり、今回、提案させていただいた作曲候補者についても、丹後にゆかりのある候補者ということで、市の当初の方針とは少し変わったが、市としてもふさわしい結果になったと考えている。</p> <p>その他</p> <p>○結果としては、市の歌の制作に係る経費が当初の想定よりも低額に納まっており、市民の理解も得られる金額に収まったと感じている。</p> <p>○藤原哲也さんには、作曲・編曲・地元合唱団の歌唱指導もお願いできる前提で依頼できる見込みである。</p> <p>「市の花」「市の木」候補募集結果に関する主な意見</p> <p>「フクジュソウ」は漢字の感じも花の見栄えも非常によい。また、公共のマンホールなどで自治体の花木の絵柄を見ることがあるが、福寿草はそういった活用にも向いていると感じる。</p> <p>○「マツ」の応募理由などからは、やはり海辺に住む人の意識を感じることができる。丹後町の屏風岩等に生えている松を見ると、どこから栄養を吸収して見事に生きているのか不思議に思うことがある。しかしながら、個人的に「マツ」には懐古主義を感じて少し寂しい感じもする。</p> <p>○「ブナ」は竹野川沿いの源流にあって、京丹後市民の命の源である。また、</p>

<p>安井副委員長 閉会あいさつ</p>	<p>環境保全についても強いアピール力がある。</p> <ul style="list-style-type: none">○「ブナ林」から流れ出る水が特A米を育てるというストーリーがあるが、非常に強いアピール力を感じる。○「トウテイラン」も市の花としてふさわしいと感じる。○「花」にしても「木」にしても、まちづくり、観光にインパクトを与える物語が必要だと感じる。○「フクジュソウ」は、健康長寿の京丹後市をイメージする花としてぴったりだと感じる。○「フクジュソウ」は弥栄町の花だったが、市の花の候補とすることに問題はない。○「フクジュソウ」は希望の花というイメージもある。冬が終わり春を迎える3月の終わりに咲くというところが丹後っぽく感じる。○「ブナ」「マツ」は環境のパロメーターとも言われており、環境を重視したまちづくりを進める京丹後市にふさわしいと感じる。 <p>年度末のお忙しい中ありがとうございました。</p> <p>京丹後らしい、未来が明るい「花」「木」「歌」を制定できるよう、今後もよろしく申し上げます。</p>
--------------------------	--